

2018年3月期 第1四半期決算概要

2017年7月31日
メタウォーター株式会社

- I 2018年3月期第1四半期ハイライト
および2018年3月期業績予想
- II 2018年3月期第1四半期決算概要

セグメント情報

- **プラントエンジニアリング事業** (略語: PE事業) 国内EPC事業、海外事業
当セグメントでは、国内外の浄水場内の浄水プロセス、下水処理場内の下水処理プロセス、汚泥処理プロセス、燃料化プロセスに使用する機械設備の設計・建設と、それらを運転、監視、制御するための電気設備の設計・建設を核とした各種エンジニアリングを主たる業務としています。
- **サービスソリューション事業** (略語: SS事業) 国内O&M事業、国内PPP事業
当セグメントでは、国内の浄水場、下水処理場、ごみ処理施設・リサイクル施設向けの機械設備や電気設備の補修工事、運転・維持管理(保守・点検)、運営などの各種サービスを主たる業務としています。

略語

EPC	Engineering, Procurement and Construction: 設計・建設
O&M	Operation and Maintenance: 運転・維持管理
PPP	Public-Private Partnership(官民連携): 公共サービスの提供に民間が参画する手法
PFI	Private Finance Initiative: 公共施設の設計・建設、運転・維持管理、資金調達に民間を活用する公共事業の手法
DBO	Design, Build and Operate: 公共施設などの設計・建設、運転・維持管理に民間を活用する公共事業の手法

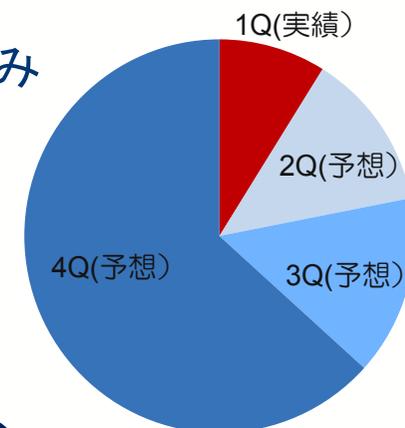
- I 2018年3月期第1四半期ハイライト
および2018年3月期業績予想
- II 2018年3月期第1四半期決算概要

'18/3期1Q決算ハイライト

売上高・利益

- * 当1Qの減収減益は、案件構成の違いによるもので、通期業績予想に織り込み済み（1Qは予想通り）⇒通期業績予想は変更なし
- * 四半期純利益は、前期に生じた米国子会社の税効果がなくなり、定常化

'18/3期 四半期別売上構成



受注高

- * 前期受注を予想していたPPP案件の当期へのずれ込みと大型案件の受注により、当1Qの受注高は前期実績を上回り、当1Q末の受注残高は増加傾向を持続（参考）'17/3期1Q末1,201億円→'18/3期1Q末1,404億円

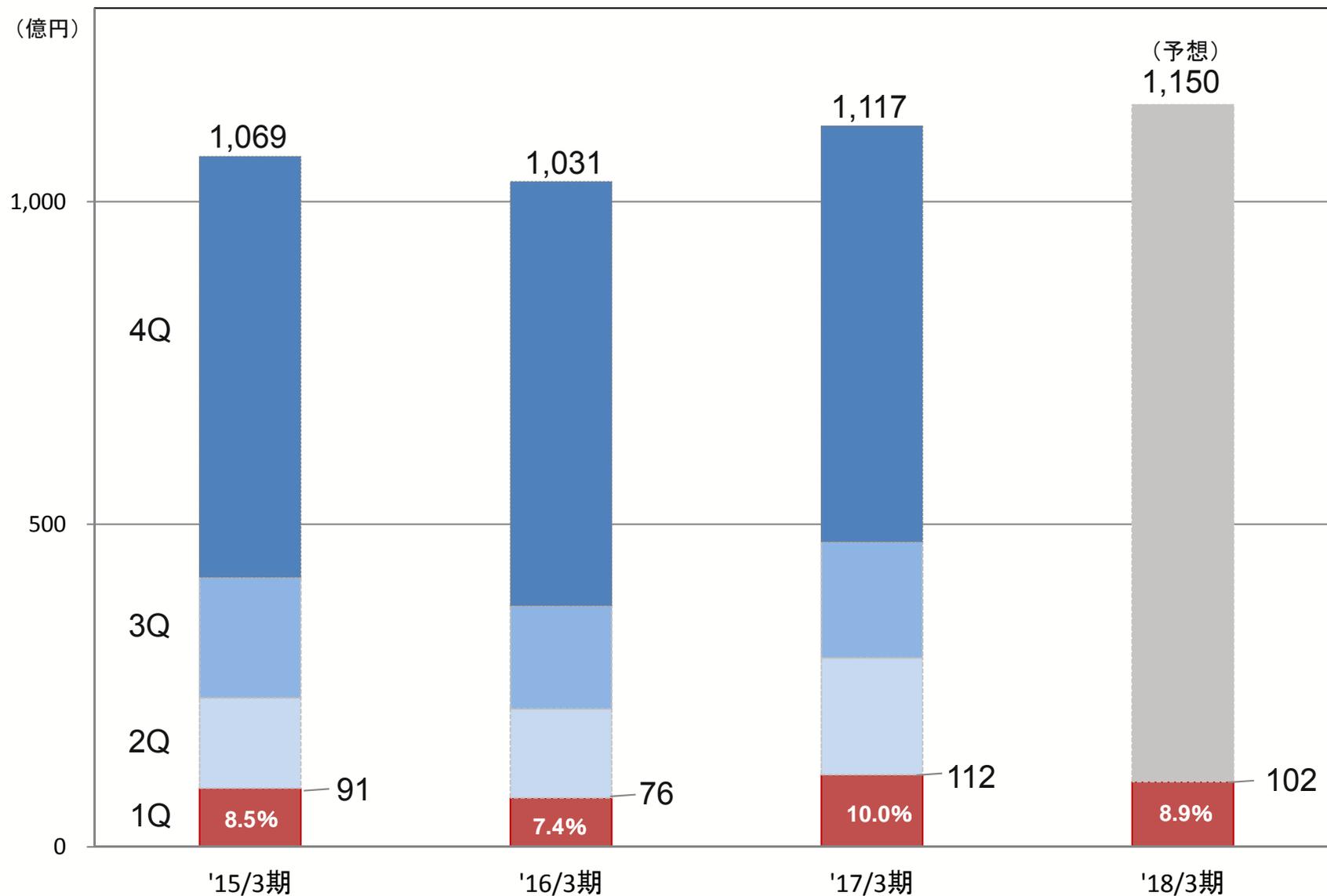
(億円)

	受注高	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益*	年間配当(円)
'18/3期 1Q 実績	354 前期比: +114 +47.3%	102 前期比: ▲10 ▲9.1%	-28 前期比: ▲4	-28 前期比: ▲0	-20 前期比: ▲7	-
'17/3期 1Q実績	240	112	-25	-28	-13	-
'18/3期 通期予想	1,250 前期比: +54 +4.9%	1,150 前期比: +33 +3.0%	65 前期比: +2 +2.7%	64 前期比: +1 +2.4%	42 前期比: ▲5 ▲11.4%	58 前期比: ±0

* 親会社株主に帰属する四半期純利益

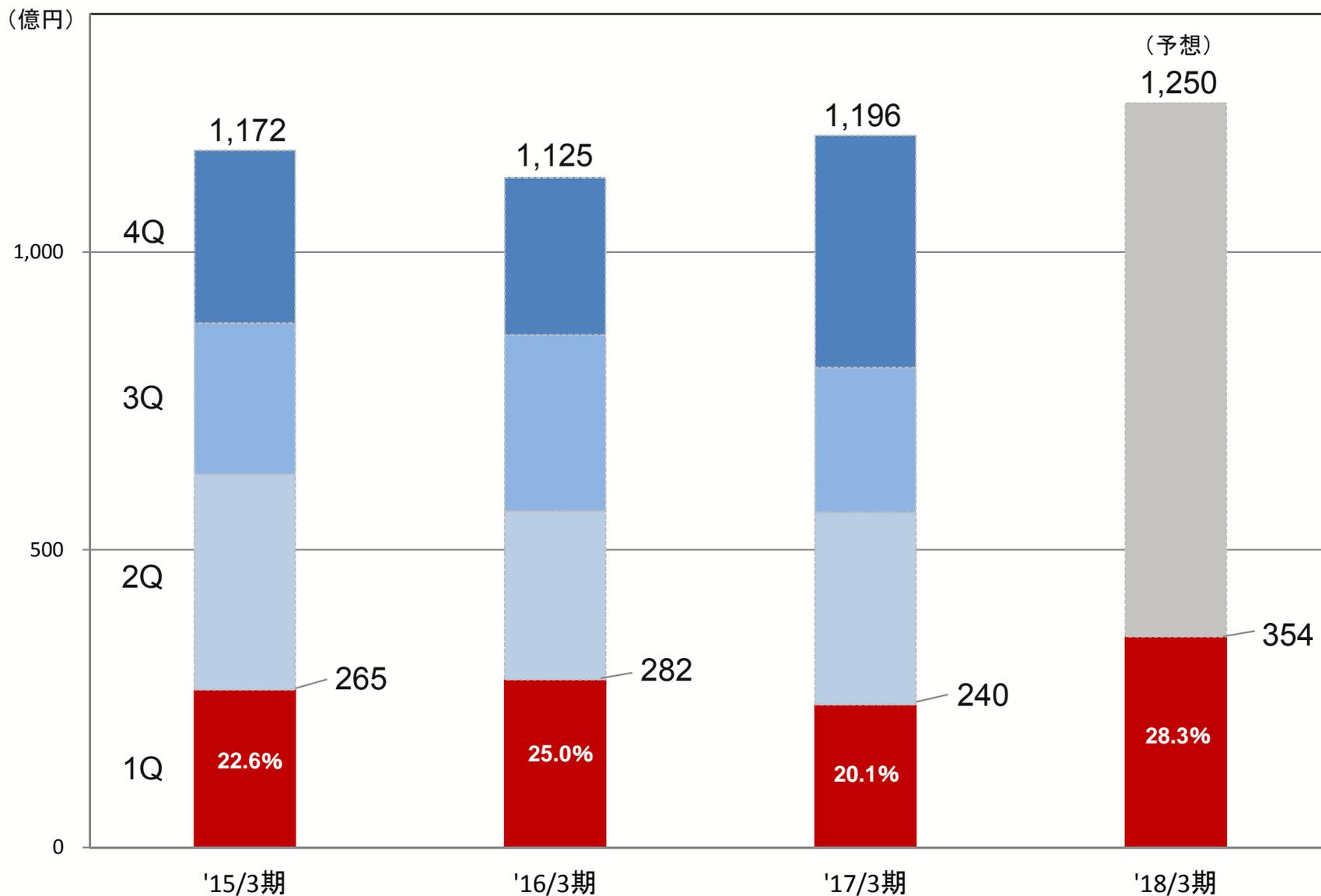
1Q 売上高推移

当社グループの事業は、国内公共事業が大半で、売上・利益が4Qに著しく偏る傾向があり、例年1Qの売上高は年間の1割程度。当1Qの売上高も例年並みの水準。



1Q 受注高推移

例年1Qの受注高は年間の25%以下。当1Qの受注高は前期に受注を予想していたPPP案件の当期へのずれ込みと大型案件の受注により例年以上の水準。



* 工事受注 : 10億円規模以上5件* (前期1件)、3億円以上14件
(前期9件)受注

*うちPPP 案件は1件、通算では上下水道分野58件中
28件に参画

* 工事完了 : 受注高3億円以上の工事を4件 (前期4件)完了

* 運転・維持管理 受託 : 2件

* 運転・維持管理 業務開始 : 3件* *うち2件は受託および業務開始

具体的な案件名については巻末の補足資料をご参照ください

当社の技術・開発取り組みが各方面で評価

- * 「微粉炭—高塩基度凝集剤—膜分離浄水システムの開発」が平成29年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞を受賞
- * 「最終沈殿池処理能力向上技術実証研究」が平成29年度B-DASH* プロジェクトに採択
- * 「浮上ろ材を用いた合流改善高速ろ過技術」が、公益社団法人日本水環境学会技術賞を受賞
- * 「金町浄水場統合監視制御設備設置工事」が平成29年度 東京都水道局 優良請負工事(局長表彰)を受賞

パートナーシップによるオープンイノベーション

- * 国際航業株式会社、管清工業株式会社と共同で、下水道管路の点検・維持管理業務を支援するWBC*サービスの提供を開始(本日発表)

*B-DASH (Breakthrough by Dynamic Approach in Sewage High Technology Project) 国土交通省が実施する下水道革新的技術実証事業

*WBC (Water Business Cloud) 上下水道に関わる情報・データを標準化・共有化し、包括化・広域化を支援するビジネスクラウドサービス

I 2018年3月期第1四半期ハイライト
および2018年3月期業績予想

II 2018年3月期第1四半期決算概要

Ⅱ 2018年3月期第1四半期決算概要

- 1 連結損益計算書
- 2 セグメント情報
- 3 連結貸借対照表
- 4 連結キャッシュ・フローの状況

連結損益計算書

(単位: 億円)

	'17/3期 1Q実績	'18/3期 1Q実績	増 減
売 上 高	112	102	▲10
営 業 利 益	-25	-28	▲4
(営 業 利 益 率)	-22.0%	-27.7%	▲5.7%
経 常 利 益	-28	-28	▲0
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	-13	-20	▲7

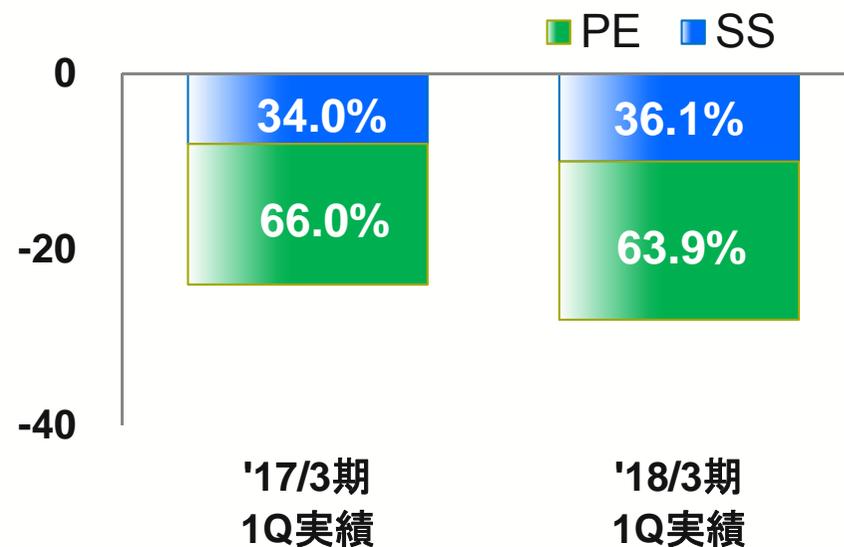
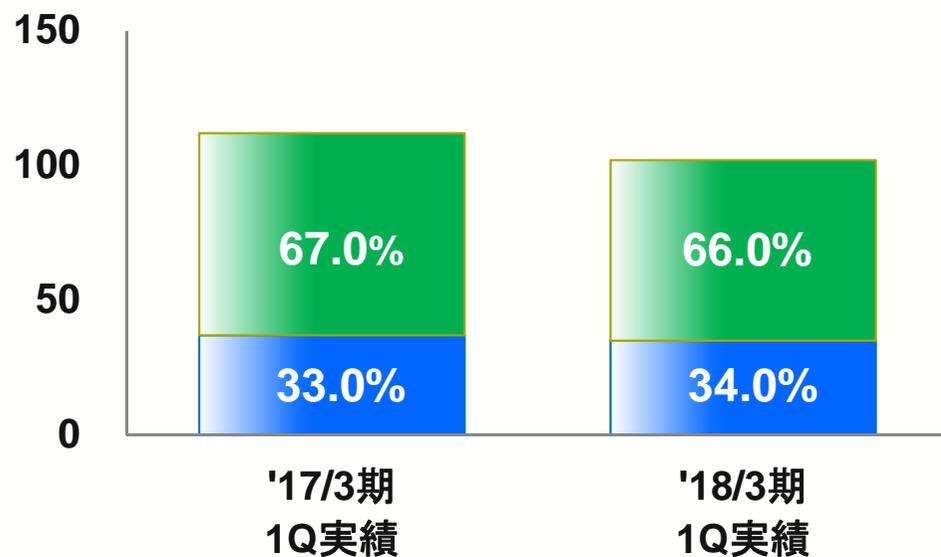
* 10百万円単位を四捨五入

セグメント情報

(単位: 億円)

	売上高		
	'17/3期 1Q実績	'18/3期 1Q実績	増 減
PE	75	67	▲8
SS	37	35	▲2
合計	112	102	▲10

	営業利益		
	'17/3期 1Q実績	'18/3期 1Q実績	増 減
PE	-16	-18	▲2
SS	-8	-10	▲2
合計	-25	-28	▲4



連結貸借対照表

(単位:億円)

	'17/3期 期末実績	'18/3期 1Q末実績	増 減
現金・預金	242	485	+242
売上債権	679	305	▲374
棚卸資産	72	108	+35
繰延税金資産	16	16	▲0
その他	26	23	▲3
流動資産計	1,036	936	▲99
有形固定資産	31	30	▲1
無形固定資産	82	77	▲5
その他	62	63	+1
固定資産計	174	170	▲4
総資産計	1,210	1,106	▲104

	'17/3期 期末実績	'18/3期 1Q末実績	増 減
買入債務	308	201	▲106
短期借入金 ^{*1}	(8)11	(8)11	+0
前受金	87	162	+75
その他	80	42	▲38
流動負債計	485	416	▲69
長期借入金 ^{*2}	(124)148	(120)144	▲4
その他	54	54	0
固定負債計	202	198	▲4
負債計	687	614	▲73
純資産計	523	492	▲31
負債・純資産合計	1,210	1,106	▲104

*1 *2 : カッコ内の数値はPFI等プロジェクトファイナンス・ローンの金額

連結キャッシュ・フローの状況

(単位: 億円)

	'17/3期 1Q実績	'18/3期 1Q実績	増 減
現金・現金同等物の前期残高	200	233	+33
営業キャッシュ・フロー	200	255	+55
投資キャッシュ・フロー	-1	-1	0
フリー・キャッシュ・フロー	199	254	+55
財務キャッシュ・フロー	-12	-12	0
現金・現金同等物に係る 換算差額	0	0	0
現金・現金同等物の期末残高	387	475	+88

ディスクロージャーポリシー

1. 基本方針

当社グループは、企業理念に基づき、社会とともに持続的な発展を遂げるため、すべてのステークホルダーの皆様の期待にお応えし、社会から信頼され、社会に貢献し続ける企業グループを目指します。この考え方に則り、当社グループは、ステークホルダーの皆様や社会に対して当社グループに係る企業情報を公正・公平かつ適時・適切に開示するとともに、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションをはかることにより、当社グループに対する理解促進をはかり、透明性・信頼性の高い経営に努めます。

2. 情報開示の基準

会社法、金融商品取引法等の諸法令および金融商品取引所の定める規則等により開示が求められる企業情報について、それぞれの法令や規則等に則り、情報開示を行います。また、法令や規則等に該当しない企業情報であっても、ステークホルダーの皆様により有用であると判断される情報や社会的に開示が必要と判断される情報について、可能な限り積極的に情報開示を行います。

3. 情報開示の方法

上記の法令や規則等により開示が求められる企業情報については、それぞれの法令や規則等で定められた方法により情報開示を行うとともに、当社ホームページに掲載します。上記の法令や規則等に該当しない企業情報については、その重要性や緊急性を考慮し、報道機関や当社ホームページ等を通じて情報開示を行います。

4. 情報開示後のコミュニケーション

開示した情報に関して、会見、説明会、取材、問い合わせへの回答等を通じ、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションをはかります。また、コミュニケーションを通じてステークホルダーの皆様からいただいたご意見等は、当社グループ内で共有し、今後の参考とさせていただきます。

5. 沈黙期間

決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算(四半期決算を含む)期末日の翌日から決算発表までを沈黙期間とします。沈黙期間中は、業績予想の修正に関する情報開示を行った場合を除き、決算・業績見直しに関する会見、説明会、取材、問い合わせへの回答等は差し控えます。

6. 将来の見通しについて

当社グループが開示する業績予想、戦略、目標等のうち将来の見通しに関する記述は、当社グループがその時点で入手している情報および合理的であると判断される一定の前提を根拠としており、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

7. 社内体制の整備

ディスクロージャーポリシーを遵守し、適切な情報開示およびステークホルダーの皆様とのコミュニケーションがはかれるよう、社内体制を構築するとともに社内規程を整備します。



【本資料に関するお問い合わせ先】

メタウォーター株式会社 CSR推進室 広報IR部

Tel: 03-6853-7317 Fax: 03-6853-8709 E-mail: pr@metawater.co.jp

工事受注(10億円規模以上)

案件名	顧客	都道府県	セグメント
日野市クリーンセンタープラスチック類資源化施設建設工事	日野市	東京都	SS(環境)
秋田県北地区広域汚泥資源化事業	秋田県	秋田県	SS(PPP)
新河岸水再生センター汚泥焼却炉脱水設備	東京都下水道局	東京都	PE
森ヶ崎水再生センター再構築工事	東京都下水道局	東京都	PE
相模原浄水場監視制御設備改良工事	神奈川県広域水道企業団	神奈川県	PE

工事受注(3億円～10規模未満)

案件名	顧客	都道府県	セグメント
南部スラッジプラント汚泥焼却設備改良・補修工事	東京都下水道局	東京都	SS
東部配水場設備整備工事(電気)	越谷松伏水道企業団	埼玉県	PE
王子ポンプ所発電設備工事	東京都下水道局	東京都	PE
東部水処理センターNo.1, 2汚泥脱水機改修工事	福岡市	福岡県	SS
都筑水再生センター第3系列最終沈殿池設備工事	横浜市環境創造局	神奈川県	PE
砂町水再生センター東陽I系反応槽散気設備改良工事	東京都下水道局	東京都	PE
久喜市佐間浄水場受変電設備更新工事	久喜市	埼玉県	PE
焼却設備保守点検整備業務委託	愛知水と緑の公社	愛知県	SS
三鷹市東部水再生センター監視制御設備等更新工事(第二期)	日本下水道事業団 東日本本部	東京都	PE

工事完了(受注高3億円以上)

案件名	顧客	都道府県	セグメント
中島浄化センター汚泥脱水層機械設備更新工事	静岡県上下水道局	静岡県	PE
(補)大垣市浄化センター消化タンク設備更新(機械設備)工事	大垣市	岐阜県	PE
(補)大垣市浄化センター消化ガス発電設備工事	大垣市	岐阜県	PE
米国モンタナ州 セラミック膜ろ過装置採用Butte浄水場完成	米国モンタナ州	モンタナ州	PE(海外)

運転・維持管理 受託

案件名	顧客	都道府県	セグメント
下呂市水道施設運転管理業務*	下呂市	岐阜県	SS
下呂市水道施設運転管理業務 その2*	下呂市	岐阜県	SS

*受託および業務開始

運転・維持管理 業務開始

案件名	顧客	都道府県	セグメント
中島浄化センター及び中島雨水ポンプ場外 運転管理業務	静岡市	静岡県	SS